

## サーチファンド・ジャパンによる (株)ニューライフ総建とミスターデイク(株)の グループ化について

株式会社日本政策投資銀行（以下「DBJ」という。）、株式会社日本M&Aセンターホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：三宅卓）及びキャリアインキュベーション株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：荒井裕之）等が共同で設立した株式会社サーチファンド・ジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：伊藤公健）が運営するサーチファンド・ジャパン第1号投資事業有限責任組合（以下「当ファンド」という。）は、山梨県甲府市で住宅等の建設業を展開する株式会社ニューライフ総建の事業を承継し、2022年1月に当ファンドにおいてサーチファンド（注1）の仕組みで大屋貴史氏とともに事業を承継したミスターデイク株式会社とのグループ化を実施いたしました。

(株)ニューライフ総建は、山梨県甲府市で新築住宅や店舗の建設等を展開する事業者であり、創業社長である井口和英氏の元、地域に密着した事業を展開・発展されてきました。将来を見据え、同社の事業が安定的に継続・発展していくための手段として、事業承継を検討されてきました。

ミスターデイク(株)は、(株)ニューライフ総建と同じく山梨県甲府市において、住宅リフォーム事業・新築住宅事業を営む企業で、当ファンドおよび山梨県甲府市出身の大屋貴史氏が2022年1月に事業承継し、同社の成長および地域経済の活性化に向けた経営に取り組んでまいりました。

この度、両社の事業領域の補完、組織力やマネジメント体制の充実等、グループ化により更なる事業基盤の強化が見込まれることから今回の事業承継が実現されました。本事業承継後は、地域に密着した事業を営む両社は、それぞれ独立した企業としての運営を継続しつつ、地域社会・経済により大きな貢献ができるよう、両社の強みや得意分野を活かした協業の可能性を検討していきます。

今後、(株)ニューライフ総建においては、井口和英氏が代表取締役会長、大屋貴史氏が代表取締役社長として経営を推進していきます。またミスターデイク

(株)においては引き続き大屋貴史氏が代表取締役社長として同社の経営を担います。

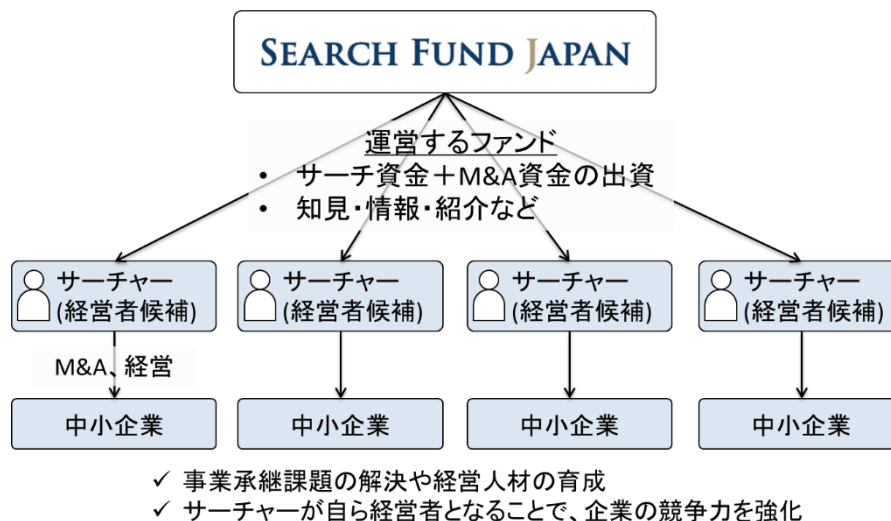
当ファンドによる出資は、中小企業の事業承継を契機とした若手経営人材の派遣等による経営革新を支援するものであり、DBJの「特定投資業務（注2）」の一環である「DBJスタートアップ・イノベーションファンド（注3）」を活用いたします。

DBJは、今後とも「特定投資業務」を通じた成長資金に係る市場の発展や競争力強化に向けたお客様の取り組みを積極的にサポートしてまいります。

### 【大屋貴史氏略歴】

- ・ 東京大学卒業（2002年）
- ・ (株)博報堂（2002年～2007年）
- ・ (株)ミスミ（2007～2016年）
- ・ フロンティア・マネジメント(株)（2016年～2021年）
- ・ サーチャーとして事業承継を目指し活動（2021年～2022年）
- ・ ミスターデイク(株)を承継し代表取締役社長に就任（2022年～）

### 【ファンドスキーム概要】



(注1) サーチャーとは、サーチャーと呼ばれる個人が中小企業を M&A し



て、自ら経営者として企業の再成長を実現させる仕組みです。サーチャーは、まず M&A 候補企業の発掘/選定 (=サーチ活動) に必要な少額の活動資金を投資家から調達し、投資先企業が見つかった段階で M&A 資金を調達する二段階目の資金調達を行います。当初の資金調達額を抑えるこの仕組みにより、実績の少ない若手経営者候補も M&A を目指すことができ、投資家からみると低リスクで優秀な人材と投資先にアクセスできる可能性を得ることができます。

(注 2) 民間による成長資金の供給の促進を図るため、国からの一部出資 (産投出資) を活用し、企業の競争力強化や地域活性化の観点から、成長資金を時限的・集中的に実施することを企図して設けられたものです。

(注 3) 「特定投資業務」において、スタートアップの創出・育成、イノベーションエコシステムの構築等に向けた取り組みを推進するため設置した資金枠です。

**【お問い合わせ先】**

企業投資第 3 部 電話番号 03-3244-1351